

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和5年度 第1回相模原市スポーツ推進審議会		
事務局 (担当課)		市民局 スポーツ推進課		
開催日時		令和5年10月31日(火) 午後2時00分～午後3時45分		
開催場所		相模原市役所 会議室棟1階 第1会議室		
出席者	委員	9人(別紙のとおり)		
	その他			
	事務局	8人(スポーツ・文化担当部長 他7人)		
公開の可否		可 不可 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 あいさつ 2 議 題 (1) 副会長の選任について (2) 相模原市スポーツ推進計画の進行管理について 3 その他		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり（ は委員の発言、 は事務局の発言）

1 あいさつ

開会に先立ち、スポーツ・文化担当部長からあいさつを行った。

2 議題

（ 1 ）副会長の選任について

委員互選により、相模原市スポーツ推進連絡協議会の佐伯委員が選任された。

（ 2 ）相模原市スポーツ推進計画の進行管理について

事務局が資料の説明を行った後、次のとおり質疑応答を行った。

【基本方針 1】

若者のスポーツ実施率が高い一方で、30～40歳代のスポーツ実施率が低い。SNS等によりスポーツを楽しくやっていることが目に見える世代との状況の違いではないか。提案として、口コミで「参加したら楽しかった」「次は一緒に行こう」等誘い合うことを広げていくのはいかがか。

市でも情報発信は既に行っていると思われる。若者は、部活等で運動することが必然的だが、30～40歳代の子育て世代は自分のために使える時間が少ない世代である。子育て世代が運動するには、子どもを預かってもらえたり、子どもと一緒に運動できたりというような工夫が必要となるため、市にできることは取り組む必要がある。地域ぐるみで子育てするような地域による互助的なコミュニティづくりを関係機関に伝えてもらいたい。

30～40歳代のスポーツ実施率の低さは、アンケートの結果より明らかであり、課題だと感じている。子育てをした立場からの一意見だが、運動をする時間が取れるならば休息する時間に充てたいと感じてしまう。しかしながら、スポーツによってストレスを発散する機会は必要なため、民間の力を借りつつ計画の中に落とし込めるとよい。

親世代が、子どもと一緒にできるようなイベントや活動を計画することにより、実施

率の向上へ繋がると思う。

大野南公民館では、「サロン」を開催し、筋トレやラジオ体操等を実施しており、他の公民館でも健康づくり普及員が実施している事業がある。これらの事業はもっと実施してほしいとの声もある。市主導の事業は、(事業所管ごとの情報発信ではなく)ワンストップで情報提供できると利用者側の利便性が高まり参加率が向上するのではないかと。

現状、ワンストップで情報提供できる機能がない。市ホームページ上でそのような仕組みがあるとよいと思う。ご意見として承る。

市主導の事業について、(事業所管ごとの情報発信ではなく)ワンストップで情報提供できたらよいという意見に賛成である。子育て世代の女性は多忙であるため、競技としてのスポーツに限らず、まず体を動かすことが第一と考える。例えば、公民館で実施されているエクササイズ等をWeb配信してはどうか。登録者数が増えればライブ配信も可能であり、アーカイブに残すことで空き時間に体を動かすことができる。費用をかけずとも今あるコンテンツを活用して、ニーズに合った提案ができるのではないかと。

見直す機会があるのであれば、障害を「障がい」とすることで、障害のある方への配慮する姿勢を示すことができるのでは。

【基本方針2】

ボール遊び広場とは、どこにあるのか。

相模原駅北口にある相模原スポーツ・レクリエーションパークにある。

今の子どもは、ボールを投げる機会を失ってしまっている。ボールを投げてよい場所は看板等により分かりやすい案内があるとよい。

公園によって、周辺環境や近隣住民との関係性により、看板での案内内容が異なると思われるが、担当課に共有する。

小学生の遠投といえば、ジャベリックボール(楕円形のボールに羽根がついているもの)が「全国小学生陸上競技交流大会」の正式種目となった。教科書にも掲載されるようになっているため、小学校の授業に取り入れてはどうか。

教員に対する授業づくりへの支援や研修等が実施されていることから、授業づくりの参考としている部分はあるかと思う。担当課へ情報提供する。

指導者やボランティアの人材確保、育成について、携わる人のスキルアップや人材の新たな開拓が必要だと思われるが、何か施策はあるか。

現状ない。令和8年度以降の部活動地域移行が喫緊の課題となっており、来年度から本件についての検討組織を設置予定のため、その中で指導者の確保、育成についても課題として捉えていく。

大学関係者としても興味深い課題である。すでに部活動の指導者不足という現場の意見があることを承知している。ぜひ相模原市でも特色ある施策が見えてくるとよい。

けがや応急手当に係る研修は、ぜひ市として指導者に受けさせてほしい。

部活動の地域移行においても、指導者の育成も必要だと認識している。

CPRやAEDの資格取得には費用がかかるのか。

5千円～3万円程度かかる。

市から金銭的な補助がないと厳しいのではないか。

現実的に、指導者確保において資格取得を必須条件とした場合、人員不足が想定される。スポーツトレーナー等、すでに資格を持っている人材を活用していくことも視野に入れるべき。

資格は取れずとも、指導者への講習会等で応急手当やAEDの使用方法を指導する等、市として最低限の安全確保の取組みが必要。

スポーツ推進委員は、参加は自由だが、応急手当とAEDの研修を毎年交互に実施している。

【基本方針3】

近年の暑さにより体育の授業が実施しづらく、体育館や広い教室には冷房設備が整備されていない状況で、音楽室で実施することもあった。一年中運動できる環境を最低限整備してもらいたい。

現時点では、大規模改修のタイミングでエアコン設置を進めると聞いている。ご意見として承る。

熱中症の問題については、たしかに近年気温が上がっている状況ではあるが、どうすれば熱中症になりにくいのか、熱中症に強い体づくりのためにはどうすればよいのかな

ど、まずは熱中症に対する理解を深める指導をすべきである。

「できないことができるようになった」とか「できることを見つけられた」というのが、運動をしていて楽しいと感じた理由として多いものである。体育の授業の役割としては、みんなが楽しみながら学ぶことが一番重要だと考えており、そのような視点を持って教員への指導にも注力する必要がある。一人ひとりに合った指導ができれば、運動が苦手な子どもも自分に役割があると思え、楽しさに繋がる。それ以上のことをスポーツに求める子どもたちは、授業以外でスポーツに取り組める環境があればよいと考える。

陸上競技でも、他者との比較ということではなく、自己新記録を出すことに注力し指導している。

スポーツを楽しむことも大切だが、勝敗を楽しむという意義もある。負ける経験から学んだり次の目標を見つけたりすることができるため、そういった指導も必要ではないか。

教員の授業力向上を図る取組みの推進とは、実績に記載のある内容のことを指しているのか。指導要領に絡む内容のため、教育委員会とのコンセンサスの形成が必要だが、スポーツをすることが好きな子どもが増えるような働きかけが求められる。

教育委員会では、講座、研修や教育センターの職員派遣によるアドバイスをを行い、教員の授業づくりを支援している。

【基本方針 4】

令和3年度の実績と比較し、令和4年度のダイナボアーズの観客数が大幅に増加しているのはなぜか。

ダイナボアーズはこれまでリーグワンのディビジョン2であったが、昨シーズンはディビジョン1に昇格しており、そもそもディビジョン1の観客数が多く、ビジターチームの観客も多く来場するため、大幅に増加したと考えられる。

子育て世代の観客数を確保するため、託児所機能を有するスポーツ観戦環境の整備はいかがか。

情報発信として、市のSNSの活用頻度を上げたり、アスリートやチームの生配信を行ったりしてもらえるとファンとしては嬉しい。

行政で実施するか等という課題はあるが、スポーツ観戦環境として託児所機能を整備する考えは、よい提案だと感じる。SNSを活用し、ホームタウンチーム間で連携し新しいことができないかという話が出ている。「スポさが」というXのアカウントから情報発信をしているが、今後も事前事後の情報発信やフォロワーの獲得に努める。

子育て支援については、理由を問わず子どもを預けられるサービスを開始する予定となっている。

以 上

相模原市スポーツ推進審議会出欠席名簿

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	安井 年文	学識経験者（青山学院大学教授）	会長	出席
2	鈴木 秀知	学識経験者（桜美林大学教授）		出席
3	齋藤 仁美	学識経験者（トップアスリート）		欠席
4	高橋 宏彰	公募市民		出席
5	伊藤 明	公募市民		出席
6	西岡 直子	（一社）相模原市医師会		欠席
7	三塚 康雄	（公財）相模原市スポーツ協会		出席
8	榎本 泰行	相模原市小・中学校長会代表者会		欠席
9	岩永 謙治	相模原市PTA連絡協議会		欠席
10	佐伯 美鈴	相模原市スポーツ推進委員連絡協議会	副会長	出席
11	岡本 和茂	相模原市公民館連絡協議会		出席
12	吉原 君子	（特非）相模原市障害児者福祉団体連絡協議会		欠席
13	三畑 義昭	総合型地域スポーツクラブ （（特非）ミハタ）		出席
14	山本 順己	ホームタウンチーム （相模原ライズアスリートクラブ）		出席